



特定非営利活動法人日本科学振興協会 設立趣旨書

1 趣旨

私たちの生活は、先達が培ってきた科学に支えられています。当法人でいう科学とは、あらゆる学問とその際の思考法・手法、技術などを意味し、さらにそれらを駆使した価値の創出を含んでいます。人類の福祉向上および自然環境にも留意した持続可能な社会の実現のためには、社会における学問や技術などへの理解と活用の促進、それらを通じた自然環境および社会に関する課題解決の推進、科学を発展させるための人材育成・環境整備、科学を文化として醸成するための土壌の形成、科学の在り方の継続的な検討など、科学の振興が重要な役割を果たします。当法人では、分野、組織、職種・職階、国籍・民族、世代の垣根を越え、あらゆる人々が対話し協働して科学を振興していくための活動を行い、そのためのコミュニティの形成を推進します。

法人化により、民主的で透明性の高い運営を行っていくと同時に、多様な背景・属性（多様性）を持つ人々が、各自の状況に応じて参加する機会を得ることができ（衡平性）、誰でも対話と協働に実際に参加できる（包摂性）ように活動を行っていきます。そして、科学に関わるあらゆる人々を対象に、科学の振興に関する事業を行い、人類の福祉向上および持続可能な社会の実現に寄与することを目的とします。また、企業、教育研究機関、学術団体、行政機関などとも積極的に連携・協力していきます。これらの事業・連携・協力を営利事業で達成することは困難なため、特定非営利活動法人の設立が最適と考えます。

法人化して団体の活動を活性化することによって、組織を日本において発展・確立させ、それと並行して、海外の関連団体との連携も深めていきます。具体的な活動としては、あらゆる人々が科学の振興について対話できる交流会や意見交換会などの開催、科学やその研究を身近に感じてもらうためのイベント開催および動画配信、科学教育・研究開発の体制・制度改善などに関する社会への提言および働きかけ、それらを含む科学の振興に向けた対話と協働の枠組みの構築、科学の振興に関する調査、情報の収集と公開、機関誌・図書の編纂ならびに公開、調査・研究成果の社会での活用促進、国内外の関係団体との連携や人材交流の推進などを行います。



2 申請に至るまでの経過

2021年2月 「日本版 AAAS 設立準備委員会」発足

2021年4月～10月 第1回～第4回「意見交換会」（公開対話イベント）開催

2021年7月～10月 第1回～第3回「公開研究会」開催

2021年11月 日本版 AAAS 設立準備委員会総会で法人化の意思確認、設立総会開催

2021年11月13日

設立代表者

小野 悠

馬場 基彰